

# 芸術の森地区社会福祉協議会

# ばんけいぬま

・芸術の森地区福祉のまち推進センター

第7号

平成15年12月15日

●発行  
情報啓発部  
責任者 伊藤 正

平成15年度

# 第一回理事会開催

去る十月二十三日(木)十八時三十分から、芸術の森地区会館に於いて、芸術の森地区社会福祉協議会平成十五年度、第一回理事会が開催されました。

力強い会長のあいさつのあとに今年度事業の中間報告及び今後の事業計画と芸術の森地区福祉のまちセンターの組織基盤強化を図るため、各単町福祉部との連携を密にし、相互の資質の向上を目的にし、各種研修会(ふれあい部・福祉推進部)並びに意見交換会(調査研修部)等を開催する予定です。

各地区に居住する高齢者のひきこもりを無くする方策、及び冬期間の除排雪対策等を支援するボランティア活動の拠点として当会が主導的に活動出来る様組織化を図って参ります。

その他、老人クラブ・青少年育成等への、各種助成及び活動内容を知つて頂く広報紙「ばんけいぬま」の発刊等も行って参ります。

事業計画を聞き、各単町、町内

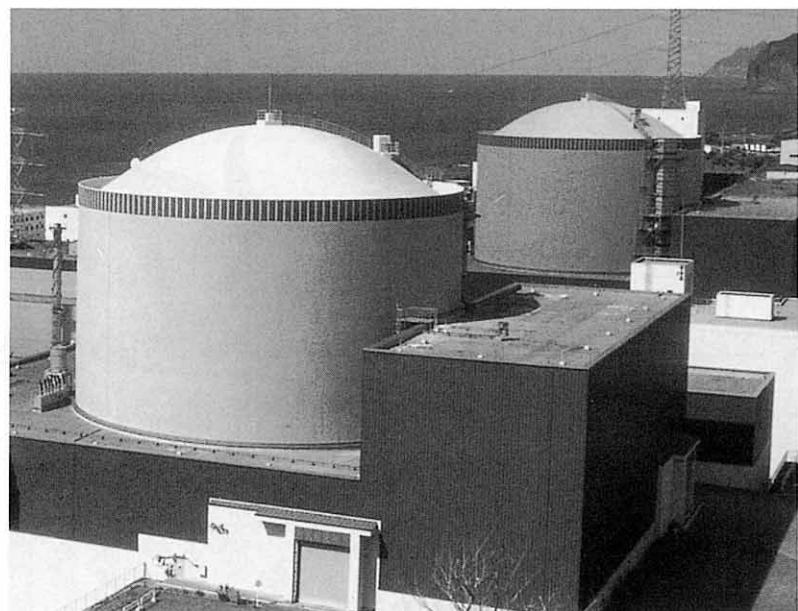
会員の年度計画及び各種行事等を幅広く地域の皆様に知って頂く事は大変重要な役目であります。皆様との懸け橋として、また、福祉に携わる者、相互の意思の疎通を図る手段として、

広報紙を有効に活用し、その責

を努めて参ります。

☆六月三十日(月)

第六号を発行いたしました。



## とまりん館、泊原発及び積丹半島一周見学会開催

調査研修部長 野中晴彦

去る九月十一日(木)、北電南営業所のご支援を得て、北海道の原子力をバランス良く組み合せ、環境に配慮しながら、安定した電気を供給していただいている、

泊原発に七十二名の多数の方々の参加を得て見学に行ってまいりました。

国際的なテロ活動の活発な折ですでの、原発の施設の中まで案内されませんでしたが、送迎のバスの中では、飲物や、ビデオ放映、又クイズの賞品等々、案内された北電職員の方々の誠心誠意あふれるおもてなしをし一同深い感銘を受けると共に、大変有意義な楽しい一日を過すことが出来ました。

北電南営業所、岡田様始め、お世話を下さった、スタッフの方々に紙面をおかりして、厚くお礼を申し上げます。

### 民生児童委員×の

#### 「つぶやき」

いやまいったよ、つぶやきどころの話でないよ。それはカラスの問題なんだよ。カラスは頭がいいよね、いくら追い払っても音を上げない、しまいには、二十メートルもある赤松の頂上に巣を作つて安住している。ハングーや布団干しの留め金は、しおちゅうなくなると思ったら赤松の上の巣作り材料だったわけ。横断歩道の向こう側でカ

## 福祉に想う

小川嬉栄子

町内で福祉の係を何年か前からさせていただいていますが、

何の活動もせず名ばかりの係で心苦しく思っています。始まつた頃はお世話をさせていただき

く意気込んでいたのですが、プライバシーの侵害とやらで中々

むずかしい問題があると聞かさ

れそのままの状態で何もしてい

ないのです。福祉の会合の時など他地区での活躍されている様

子を聞かされると心苦しく思うばかりで何もしてい

年々高齢者も多くなり自分もそ

の年齢に近く、子供達、他人に

迷惑かけずに何とかと思い、八

年前よりボランティアの仲間入り

り、近くの老人施設に出かけ、

お化粧しながら話相手になって

待つていてくれる人がいる、来

週も笑顔でおはようと声をかけ

あおう、町内での福祉の仕事は

出来なかつたが、この施設で出

来る限りお役にたてるこ

とを願つて頑張りたいと思

M・S



### 今年も「福祉除雪」で頑張ろう

北国に住んでいると冬期間の雪の処理には皆んな苦労してい

ます。札幌市では、今年も「福

祉除雪」を行ないます。

昨年、南区の利用世帯は四〇六世帯で地域の協力員は三六一

名でした。協力員の皆様、誠にありがとうございました。引き続きご理解と、ご協力を今年も

よろしくお願ひ致します。

皆様のご意見、ご提案をお寄

せ下さい。

(連絡先)

TEL五九三一二〇二一  
芸術の森社協事務局まで

## 冬道に注意を!!



雪の季節になり、日増しに寒さが厳しくなつて来ました。積

雪になれば外出、雪道を散歩する人々が時折り見かけますが、足元には充分注意し、スベリ止のついた靴や防寒衣は歩きやすいうなスタイルと、周囲に注意するよう心がけて交通事故、

車のはねた雪、屋根からの落雪等、危険がいっぱいありますので、足元や歩道は決して安全ではなく、ときにはアイスバーンになつてすべりやすくなっていますので雪道を歩くときには充分に注意が必要のことと存じます。

私達ボランティアは週一回の訪問で「又来週」ねと手を握つて別れるのですが、元気に向えてくれる人と、あんなに元気だった人が寝込んで起き上がれない人、本当に人生ですから仕方ないと思う反面、寂しくなつて帰つて来ますが、又皆さん楽しみに

喜んでもらいます。何も話さず無表情の人も口紅つけて鏡を見せるニッコリと笑顔をみせ生きとした表情が伝わつてきます。

私はボランティアは週一回の訪問で「又来週」ねと手を握つて別れるのですが、元気に向えてくれる人と、あんなに元気だった人が寝込んで起き上がれない

車の運転はねた雪、屋根からの落雪等、危険がいっぱいありますので、足元や歩道は決して安全ではなく、ときにはアイスバーンになつてすべりやすくなっていますので雪道を歩くときには充分に注意が必要のことと存じます。

要のことと存じます。

M・S